

1 ニセ電話詐欺の認知状況

(1) 認知件数・被害額 ※ () 内は前年比、千円以下は四捨五入

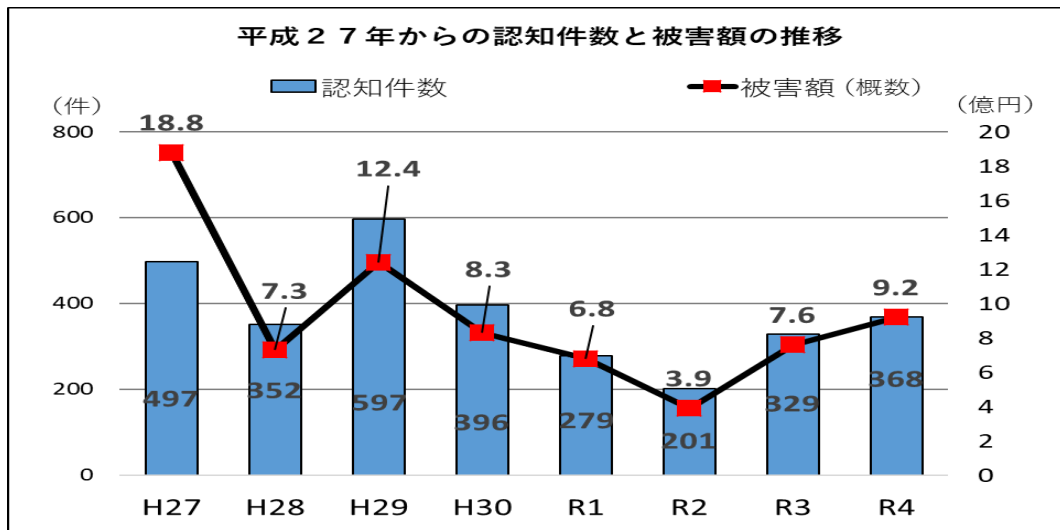
- ・ 認知件数 368件 (+39件、12%増加)
- ・ 被害額 9億2,283万円 (+1億5,823万円、21%増加)

(2) 令和4年中のニセ電話詐欺の情勢

- ・ 認知件数・被害額は、ともに前年よりも増加した。
- ・ オレオレ詐欺が前年より大幅に増加し、認知件数及び被害額全体の21%を占めた。
- ・ 架空料金請求詐欺も前年より大幅に増加し、認知件数全体の25%、被害額全体の50%を占めた。
- ・ 還付金詐欺の認知件数は前年と比較して横ばいであったが、被害額は増加した。
還付金詐欺の認知件数は全体の23%、被害額全体の8%となった。
- ・ キャッシュカード等を狙った手口が前年より減少した。
キャッシュカード等を狙った手口の認知件数は全体の26%、被害額は全体の19%となった。

《詳細は3の「主要手口の認知状況について」を参照》

- ・ 被害者の77%が65歳以上の高齢者、76%が女性である。



2 アポ電の認知状況

(1) アポ電の認知件数 ※ () 内は前年比

- ・ 2,179件 (+98件、5%増加) ※ アポ電の認知件数は既遂、未遂の両方を含む

(2) ニセ電話詐欺類型別のアポ電認知件数 ※ () 内は前年比

- ・ オレオレ詐欺 320件 (+118件、58%増加)
- ・ 架空料金請求詐欺 427件 (+134件、46%増加)
- ・ 還付金詐欺 684件 (+82件、14%増加)
- ・ キャッシュカード等を狙った手口 716件 (-243件、25%減少)
- ・ その他特殊詐欺 32件 (+7件、1%増加)

～ キャッシュカード等を狙った手口は預貯金詐欺、キャッシュカード詐欺盗を合算して計上

～ その他特殊詐欺は、融資保証金詐欺及び金融商品詐欺、ギャンブル詐欺、交際あっせん詐欺、その他の詐欺を合算して計上

(3) 令和4年中のアポ電の傾向

- ・ ニセ電話詐欺被害の増加に伴い、アポ電の認知件数も前年より増加した。
- ・ オレオレ詐欺のアポ電認知件数が大幅に増加し、アポ電認知件数全体の15%を占めた。
- ・ 架空料金請求詐欺のアポ電認知件数が大幅に増加し、アポ電認知件数全体の20%を占めた。
- ・ 還付金詐欺のアポ電認知件数が前年より増加し、アポ電認知件数全体の31%を占めた。
- ・ キャッシュカード等を狙った手口のアポ電認知件数は前年より減少したものの、アポ電認知件数全体では33%を占めた。

～ キャッシュカード等を狙った手口のアポ電件数は、預貯金詐欺及びキャッシュカード詐欺盗を合算して計上

3 令和4年中の主要手口の認知状況について

(1) オレオレ詐欺 ※ () 内は前年比

- ・ 認知件数 79件 (+44件、126%増加)
- ・ 被害額 1億9,081万円 (+1億2,319万円、182%増加)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R3年認知件数	0	0	0	0	1	1	1	8	7	2	10	5
R4年認知件数	2	4	0	1	0	5	5	9	12	14	11	16

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R3被害額(万円)	0	0	0	0	150	354	300	2,120	1,330	172	1,268	1,069
R4被害額(万円)	140	320	0	443	0	1,695	1,400	1,575	2,230	3,468	4,555	3,255

【駅の遺失物係や遺失物センターの職員が登場するパターンの手口例】



息子役

- ・ もしもし、俺だけ。
- ・ 明日、書類が届くと思うから受け取っておいて。
- ・ 明日、仕事で福岡に帰るから。



遺失物係役

- ・ 息子さんの鞆や財布、携帯電話を預かっています。
- ・ 財布の中にガード類は入っていませんでした。
- ・ 息子さんから連絡があったら伝えてください。



お金の要求が始まる！



息子役

- ・ 会社の大事な支払いがあるんだ。
- ・ カードが盗まれたからこのままじゃ払えない。
- ・ 会社の上司が半分立て替えてくれた。
- ・ お母さん、残り半分を用意できないかな。
- ・ 上司の息子さんがお金を受け取りに行くから。

そして・・・息子とは違う者がお金を受け取りに来る！！

【病院の医師が登場するパターンの手口例】



病院の医師役

- ・ A病院の医師の〇〇です。
- ・ 息子さんが喉頭ガンかもしれないので精密検査をしました。
- ・ 麻酔をして息子さんの声が変わっています、驚かないでください、息子さんと電話を代わります。



息子役

- ・ 咳がひどくて会社の同僚に病院に連れて来てもらった。
- ・ 明日、また精密検査をすることになった。
- ・ 心配かけてごめんね。
- ・ 病院でカバンや携帯をなくしたから電話は繋がらないから。



病院の警備員等から財布等が見つかったという電話！



病院の警備員役

- ・ A病院の警備員です。
- ・ 息子さんのカバンが見つかりました。
- ・ お金やカード類の大事な物は抜き取られているようです。
- ・ 息子さんから連絡があったらこのことを伝えてください。

そして・・・息子役からお金の要求が始まる！



息子役

- ・ カバンは見つかったけど、カード類は盗まれてたんだ。
- ・ 今日、会社の大事な商談があるんだけど、支払いができないから、お母さん、どうにか用意できないかな。
- ・ 同僚の息子さんがお金を受け取りに行くから。

◆ 電話の相手が息子や孫を名乗っても、電話でお金の話が出たら要注意！

◆ 犯人は、息子や孫に電話で連絡させないようにするために携帯を失くしたなどと言いますので、その話をうのみにせず、一度、自身が知っている息子や孫の電話番号に電話をかけて確認してみましょう！

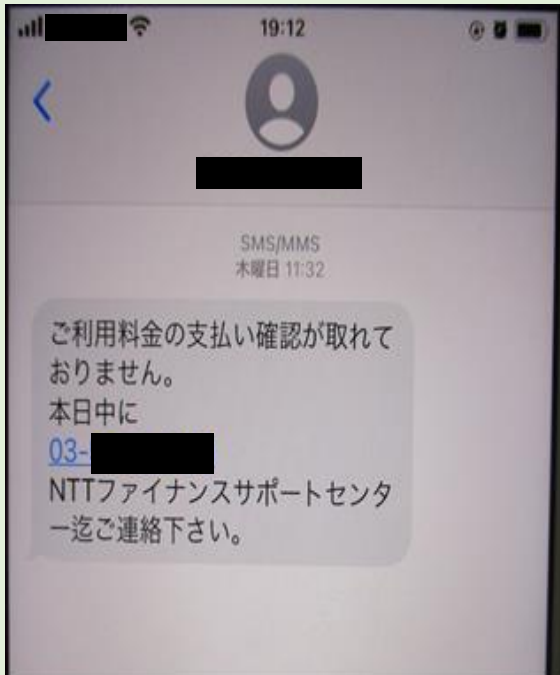
(2) 架空料金請求詐欺 ※ () 内は前年比

- ・ 認知件数 93 件 (+38 件、69%増加)
- ・ 被害額 4 億 5,640 万円 (+9,714 万円、27%増加)

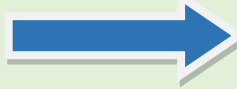
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R3認知件数	3	0	6	5	4	5	3	4	3	0	9	13
R4認知件数	7	6	6	4	5	5	2	3	16	15	14	10

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R3被害額(万円)	2,004	0	3,285	900	145	276	3,205	861	1,100	0	6,553	17,597
R4被害額(万円)	13,548	220	3,367	1,083	3,426	3,780	1,060	691	7,857	710	4,347	5,551

【携帯電話に未納料金があるというメールが届くパターンの手口例】



これに電話をかけて
してしまうと・・・



「NTTファイナンスサポートセンターです。」
「1年前にAサイトに登録されていますが、30万円が未納となっています。」
「料金が未納のまま本日、民事裁判の手続きをすることになります。」
「今日中に支払いが済めば裁判にはなりません。」
「電話を繋いだまま近くのコンビニに行ってください」
「〇〇という名義で料金を振り込んでください」

支払ったお金は保険が適用される、あるいは、登録手続きに過失が認められるので、95%が返金されるなどと甘言を用いられるが、絶対に返金はされない！



協会の職員役

- ・ あなたの未納料金について調べたところ、Aサイトの他にもBサイト、Cサイトの料金も未納となっていました。
- ・ こちらで調べたところ、あなたの今回の件は誤操作で登録された可能性が高いので、保険が適用され、支払ったお金の95%は返金されますので、ご安心下さい。
- ・ ただし、保険を適用するには今日中にお金を支払う必要があります。
- ・ あなたの携帯電話誤操作によりコンピューターウイルスが蔓延し、〇〇会社等がウイルスに感染して被害を受けています。

一度お金を払ってしまうと、セキュリティ協会の職員や弁護士等を名乗る者からの電話がかかるようになり、「他にも未納料金がある。賠償金等が必要である」などと次々にお金を請求される！



弁護士役

- ・ あなたは〇〇会社から損害賠償の訴訟を起こされています。
- ・ 賠償金を支払う必要があります。
- ・ 裁判をしないで済むには示談金を支払う必要があります。

★ このパターンは、コンビニのATM等に行くように指示してお金を振り込ませるケースのほか、電子マネーを購入させ、電子マネーのカード裏面に書かれている番号を聞き出されることもある！

【名義貸しのパターン】



生活相談センター役

- ・ A社やB社、C社の会員に登録されていますが、しばらく利用履歴がないようです。
- ・ 登録されたままですと、詐欺に利用されるかもしれませんので、こちらで退会手続きをしておきますね。



生活相談センター役

- ・ A社とB社は退会手続きできましたが、C社だけは代りに会員になってくれる人が必要とのことで、退会手続きができませんでした。
- ・ 代りに会員になってくれる人は誰かいますか？
- ・ いなければこちらでボランティアの人を探します。
- ・ NPO法人の〇〇さんがあなたの代わりに会員になってくれることになりました。



親切に手続きをしてくれているように見えるが・・・そもそも全てが架空の話！



C社の社員役

- ・ あなたの代りとなる〇〇さんが、福島県の放射線除染会社から除染機を2台購入しています。
- ・ まだあなたの退会手続きが完了していないので、あなたが名義貸しをしたこととなります。
- ・ 名義貸しは犯罪です。
- ・ 名義貸しのことを監督官庁に報告しにいきます。



訴訟回避のための示談金を要求してくる！公園等にお金をもって来るように誘導してくる！



監督官庁役

- ・ 今回の件は刑事事件であなたは逮捕されることになるかもしれませんが、示談金を支払えば民事事件にすることができます。
- ・ このことが誰かに知られてしまったら民事事件にはできませんので、誰にも言ってはいけません。
- ・ 民事事件にするには1,000万円の示談金が必要です。
- ・ 部下が自宅近くの〇〇公園にお金を受け取りに行きます。

そして・・・受取役の者がお金を受け取りに来る！！

【お金を宅急便で送付させるパターンの手口例】



住宅メーカー役A

- ・ Aホームズの〇〇です。
- ・ この地区に老人ホームを建設しており、あなたには申し込む権利があります。
- ・ その老人ホームに入居したいという方が他におりまして、入居申し込みのために名義を貸していただけませんか？

《次ページに続く》



住宅メーカー役B

- ・ Bホームズの〇〇です。
- ・ この度はありがとうございます。
- ・ A社からあなた名義での1,000万円の入金を確認できました。



この話をなかったことにしたいと申し出て
も、解約できず、お金を要求される！



住宅メーカー役B

- ・ すでにA社からあなた名義での入金を確認していますので、解約はできません。
- ・ 解約するにしても、あなたと当社は今まで取引をしたことがないので、あなたが信用できる方なのか、判断ができません。
- ・ 上司に相談したところ、あなた自身から当社へ入居契約金の1,000万円を入金していただければ、解約できるとのことでした。
- ・ 解約の手続きが終わりましたら、お金は全額返金されますので安心してください。
- ・ それでは、「東京都・・・マンション201号室」「宛名は〇〇」「品名には書籍」と書いて宅急便でお金を送ってください。



全て架空の話なのでお金は返ってこない！
そして・・・「名義貸しは犯罪」に発展！
さらにお金を要求される！



金融庁職員役

- ・ あなたが入居権を譲ったことは名義貸しであり、犯罪です。
- ・ このままではあなたは逮捕されます。
- ・ 民事事件に切り替えるには示談金が必要です。
- ・ あなたの財産状況をすべて申告してください。

- ◆ 身に覚えのない料金の請求がきたら、一度、電話を切って冷静になりましょう！
- ◆ 現金は宅配便などの書留以外の方法で郵送することはできません！
- ◆ 1万円以上の高額な電子マネーを購入しようとする人は、詐欺の電話を受けている人かもしれませので、そのような人を見かけたら積極的な声掛けをお願いします！

(3) 還付金詐欺 ※ () 内は前年比

- ・ 認知件数 85件 (±0件、増減率0%)
- ・ 被害額 7,721万円 (+1,956万円、35%増加)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R3認知件数	1	2	0	6	8	19	16	3	5	13	7	5
R4認知件数	4	9	15	6	1	7	2	9	7	7	12	6

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R3被害額(万円)	50	85	0	313	383	1,007	1,286	235	384	1,020	638	364
R4被害額(万円)	365	656	1,017	539	50	428	897	813	469	593	943	951



役所の職員役

- ・ A市役所介護保険課の〇〇です。
- ・ 保険料を多く払い過ぎていますので、2万6,900円の還付金があります。
- ・ 昨年の9月ごろに手続きの書類を送っていますが、届いていますか？
- ・ 手続きの期限は過ぎていますが、今日中に手続きをすれば還付金を受け取ることができます。
- ・ 銀行口座に振り込みますので、どこの銀行をお使いですか？
- ・ この後、銀行から電話があります。



銀行員役

- ・ B銀行です。
- ・ A市役所から連絡を受けています。
- ・ 還付金の手続きをいたしますので、お手元に通帳を用意してください。
- ・ 通帳の残高を読み上げてください。
- ・ お近くのATMで手続きができますので、通帳をもって〇〇スーパーに行ってください。
- ・ ATMに着きましたら、050-△△△△-□□□□に電話してください。



口座の残高を確認した上、商業施設等のATMに誘い出し、ATMで振り込み操作をさせる！

被害者の口座にお金が振り込まれる操作方法だとウソをついてだまし、犯人が管理する口座に振り込ませる！

★ このあと、ATMに誘導するのではなく、還付金を受け取るためにはキャッシュカードを作り替える必要があるとして、受取役が自宅に現れるパターンもある！



銀行員役

- ・ まずは振り込みのボタンを押してください。
- ・ 次は〇〇銀行のボタンを押してください。
- ・ 受付番号の数字を496351と入力してください。
- ・ 手続きがエラーとなりましたので、今度は別のスーパーのATMで手続きをします。

さらにお金をだまし取るため、今の手続きはエラーだったとして別のATMに誘導し、何度も犯人が管理する口座に振り込ませるためにATM操作をさせる！

◆ 役所からの電話だと言われても、役所に電話をかけなおして確認しましょう！

◆ ATMを操作しても還付金を受け取れることはありません！

◆ 電話をしながらATMを操作している人は、詐欺の電話を受けている人かもしれないので、積極的な声掛けをお願いします！



(4) キャッシュカード等を狙った手口 ※ () 内は前年比、被害額は暫定値

○ 預貯金詐欺

- ・ 認知件数 22 件 (−8 件、27%減少)
- ・ 被害額 4,815 万円 (−267 万円、5%減少)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R3認知件数	0	0	0	0	3	5	3	6	3	3	1	6
R4認知件数	2	0	1	0	3	1	4	3	1	1	1	5

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R3被害額(万円)	0	0	0	0	653	538	576	2,080	454	170	50	561
R4被害額(万円)	100	0	199	0	50	100	1,444	200	324	1,136	240	1,021

○ キャッシュカード詐欺盗

- ・ 認知件数 73 件 (−39 件、35%減少)
- ・ 被害額 1 億 2,901 万円 (−7,667 万円、37%減少)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R3認知件数	2	5	10	5	2	12	6	8	26	17	8	11
R4認知件数	14	7	1	12	2	5	1	14	4	4	1	8

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R3被害額(万円)	200	395	1,480	1,412	369	1,186	581	2,298	4,828	2,676	1,696	3,446
R4被害額(万円)	2,130	1,267	100	1,489	50	1,035	100	2,275	1,087	943	50	2,375

【キャッシュカード等を狙った手口の一例 ～ 百貨店大丸をかたったパターン】



大丸の従業員役

- ・ 大丸の〇〇です。
- ・ 今、片言の日本語を話す外国人女性が時計売り場であなた名義のクレジットカードを使って20万円の買い物をしようとしていました。
- ・ 怪しかったのでその女性に声を掛けたら逃げていきました。
- ・ あなたのクレジットカードが不正に使われているかもしれません。
- ・ 全国銀行協会の050-△△△△-□□□□に電話をしてください。



銀行協会の職員役

- ・ 全国銀行協会です。
- ・ 調べたところ、あなた名義のクレジットカードが不正に使われています。
- ・ 銀行の口座からお金が引き落とされる前に、キャッシュカードを止めます。
- ・ いつも利用している銀行名、口座番号、残高、暗証番号を教えてください。
- ・ キャッシュカードを止めましたので、キャッシュカードを新しく作り替える手続きをします。
- ・ ちょうど職員が近くを回っていますので、そちらに向かわせます。

《次ページに続く》



そして受け子が自宅に来て・・・キャッシュカードや通帳を受け取ったり、封筒に入れたように見せかけてすり替えていく！



受取役

- ・ この封筒にキャッシュカードを入れてください。
- ・ キャッシュカードを使えないように封印するので、印鑑を持ってきてください。
- ・ 新しいキャッシュカードが届くまで封筒は絶対に開けないでください。

★ キャッシュカードを狙った手口には、百貨店大丸をかたるパターンに加え、警察官や銀行員等をかたって「キャッシュカードを作り替える必要がある」という複数のパターンがある！

5 令和4年中の被害金交付形態別等の対比一覧

類型別	認知件数		前年同期比	
	R4.12	R3.12	件数	増減率
オレオレ詐欺	79	35	+44	+126%
預貯金詐欺	22	30	-8	-27%
架空料金請求詐欺	93	55	+38	+69%
還付金詐欺	85	85	0	0%
融資保証金詐欺	15	9	+6	+67%
金融商品詐欺	1	1	±0	±0%
ギャンブル詐欺	0	1	-1	-100%
交際あっせん詐欺	0	1	-1	-100%
その他の詐欺	0	0	±0	-
キャッシュカード詐欺盗	73	112	-39	-35%
合計	368	329	+39	+12%

被害額		前年同期比	
R4.12	R3.12	額	増減率
19,081万円	6,763万円	+12,319万円	+182%
4,815万円	5,082万円	-267万円	-5%
45,640万円	35,926万円	+9,714万円	+27%
7,721万円	5,765万円	+1,956万円	+34%
1,426万円	1,723万円	-297万円	-17%
700万円	500万円	+200万円	+40%
0万円	24万円	-24万円	-100%
0万円	110万円	-110万円	-100%
0万円	0万円	±0万円	-
12,901万円	20,568万円	-7,667万円	-37%
92,283万円	76,460万円	+15,823万円	+21%

交付形態別	認知件数		前年同期比	
	R4.12	R3.12	件数	増減率
振込型	138	126	+12	+10%
送付型	10	7	+3	+43%
現金受取型	80	40	+40	+100%
キャッシュカード受取型	23	32	-9	-28%
電子マネー型	41	12	+29	+242%
収納代行利用型	3	0	+3	-
キャッシュカードすり替え型	73	112	-39	-35%
合計	368	329	+39	+12%

被害額		前年同期比	
R4.12	R3.12	額	増減率
26,116万円	14,113万円	+12,003万円	+85%
17,560万円	8,300万円	+9,260万円	+112%
29,689万円	26,958万円	+2,732万円	+10%
4,815万円	5,974万円	-1,160万円	-19%
1,063万円	547万円	+516万円	+94%
140万円	0万円	+140万円	-
12,901万円	20,568万円	-7,667万円	-37%
92,283万円	76,460万円	+15,823万円	+21%

6 令和4年中の被害者年代別・性別一覧

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計
オレオレ詐欺	0	1	0	0	0	0	23	53	2	79
預貯金詐欺	0	0	1	0	1	0	9	10	1	22
架空料金請求詐欺	1	12	6	8	10	22	24	10	0	93
還付金詐欺	0	0	0	0	2	77	5	1	0	85
融資保証金詐欺	1	4	2	3	3	2	0	0	0	15
金融商品詐欺	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ギャンブル詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交際あっせん詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
キャッシュカード詐欺盗	0	0	0	0	0	2	20	49	2	73
合計	2	17	9	11	16	103	82	123	5	368

	男性	女性	合計	男・割合	女・割合
オレオレ詐欺	7	72	79	9%	91%
預貯金詐欺	3	19	22	14%	86%
架空料金請求詐欺	40	53	93	43%	57%
還付金詐欺	15	70	85	18%	82%
融資保証金詐欺	13	2	15	87%	13%
金融商品詐欺	1	0	1	100%	0%
ギャンブル詐欺	0	0	0		
交際あっせん詐欺	0	0	0		
その他の詐欺	0	0	0		
キャッシュカード詐欺盗	9	64	73	12%	88%
合計	88	280	368	24%	76%

	64歳以下	65歳以上	合計	64・割合	65・割合
オレオレ詐欺	1	78	79	1%	99%
預貯金詐欺	2	20	22	9%	91%
架空料金請求詐欺	54	39	93	58%	42%
還付金詐欺	11	74	85	13%	87%
融資保証金詐欺	15	0	15	100%	0%
金融商品詐欺	0	1	1	0%	100%
ギャンブル詐欺	0	0	0		
交際あっせん詐欺	0	0	0		
その他の詐欺	0	0	0		
キャッシュカード詐欺盗	1	72	73	1%	99%
合計	84	284	368	23%	77%

7 検挙対策の推進結果

(1) 総検挙人員 ※ () 内は前年比

54人 (-1人) 【内訳：成人47人 (+3人) / 少年7人 (-4人)】

(2) 検挙した被疑者の役割別

受け子 出し子	回収役	見張役	運搬役	換金役	リクルーター	道具屋	架け子	指示役	首魁
39	4	1	3	1	3	0	1	2	0

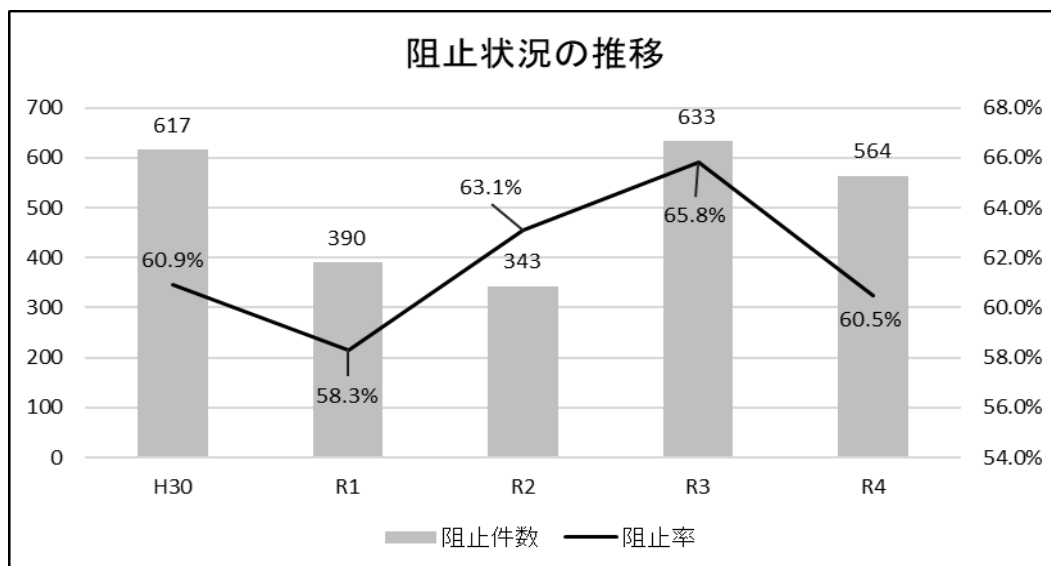
8 予防対策の推進結果

(1) 令和4年中の阻止状況 ※ () 内は前年比

- 阻止件数 564件 (前年比 -69件、11%減)
- 阻止額 1億6,029万円 (前年比 -4,699万円、23%減)
- 阻止率 60.5% (前年比 -5.3ポイント)

※ 阻止率は、【阻止件数 / (認知件数 + 阻止件数)】で算出

(2) 阻止件数・阻止率の推移



(3) 阻止者・阻止額の状況

	金融機関			コンビニ	家族 親族	友人 知人	公的機関	その他	合計
	銀行	郵便局	その他						
件数(割合)	77 (14%)	39 (7%)	25 (4%)	101 (18%)	176 (31%)	20 (4%)	67 (12%)	59 (10%)	564
阻止額(万円)	3351	2901	2101	892	5452	718	54	560	16029
端緒	窓口(レジ)	36	29	17	98		4	4	188
	ATM	7	8	2	2	0	0	9	28
	電話相談等	34	2	6	1	176	20	63	348

(4) ニセ電話気づかせ隊参加状況

- 参加団体 1万2, 215団体 (前年比 +239団体)
- 参加人数 37万1, 939人 (前年比 +798人)

(5) 阻止事例

- 金融機関職員による阻止 (オレオレ詐欺)

阻止者が勤務中、高齢女性が来店し「息子の支払いのために急いでお金が必要。定期を解約して現金を持ち帰りたい。」と話したことから、詐欺の可能性を疑い、詳細を聴取した後、出金を止めさせて、被害を阻止した。
- 金融機関職員2名による阻止 (還付金詐欺)

阻止者が勤務中、携帯電話で通話しながらATMを操作している女性の様子から還付金詐欺が疑われたため、電話を替わって、金融機関職員を名乗った相手の部署や取引内容を確認するも、相手が明確な回答ができなかったことから詐欺を看破して、被害を阻止した。
- タクシー運転手による阻止 (架空料金請求詐欺)

阻止者のタクシーに乗車した高齢男性が慌てた様子で、金融機関に向かうよう伝えたことから、用件を尋ねたところ、「未納料金を払うために30分以内にATMで手続きしなければならない。」と話したことから、詐欺に気づいて被害を阻止した。
- 大学生2名による阻止 (架空料金請求詐欺)

阻止者は、高齢女性から道を尋ねられた際、同女性の携帯電話が鳴り、困った様子で通話をしていたことから、電話を替わったところ、相手が電話関連のサポート会社を名乗り、「今日中にATMでの振込が必要。」と話したことから、詐欺を看破して被害を阻止した。

(6) 被害者への聞き取り調査結果 (未回答を除く) ※小数点以下を四捨五入

- 家族構成

独居	43%
同居 (65歳以上の高齢者のみ)	24%
同居 (65歳未満の者がいる)	33%
未回答	1%
- 家族との連絡頻度 (「独居」「同居65歳以上の高齢者のみ」と回答の者のみ)

毎日	16%
----	-----

週に1回以上	33%
月に1回以上	25%
その他	20%
未回答	5%

○ 被害に遭ったきっかけ

・ 全体	
固定電話	74%
携帯電話・メール	22%
その他	3%
未回答	1%
・ オレオレ詐欺	
固定電話	99%
携帯電話・メール	1%
・ 還付金詐欺	
固定電話	99%
携帯電話・メール	1%
・ 架空請求詐欺	
固定電話	16%
携帯電話・メール	83%
未回答	1%

○ 手口を知っていたか

・ 全体	
知っていた（なんとなく知っていた）	57%
知らなかった	41%
未回答	2%
・ オレオレ詐欺	
知っていた（なんとなく知っていた）	85%
知らなかった	11%
未回答	4%
・ 還付金詐欺	
知っていた（なんとなく知っていた）	73%
知らなかった	24%
未回答	3%

- ・ 架空請求詐欺
 - 知っていた（なんとなく知っていた） 35%
 - 知らなかった 65%

○ なぜ、手口を知っていた（なんとなく知っていた）のにだまされたのか

- 自分が被害に遭うと思っていなかった 56%
- 手口が巧妙 35%
- その他 7%
- 未回答 2%

○ 各種会合への参加

- 参加している 26%
- 参加していない 72%
- 未回答 2%

○ 防犯機能付き電話機器を知っているか

- 知っている 29%
- 知らない 68%
- 未回答 4%

トピックス

～ 犯人がなりすました職種等ランキング ～

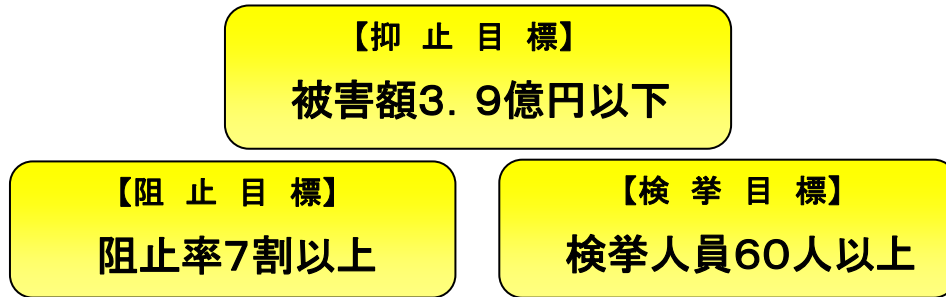
令和4年中の認知状況から、被疑者がなりすました職種等をランキング形式（上位5種）にしました。

※ 同一事案を通じて、例えば市区町村職員をかたった電話の後、金融機関関係職員かたりの電話があった場合は、それぞれ被疑者がなりすました職種等に応じて件数を計上しています。

①	金融機関関係職員 (銀行、銀行協会等)	125件
②	市区町村職員	108件
③	親族	72件
④	警察	47件
⑤	通信事業者	46件

9 本県警察が掲げた「令和5年特殊詐欺抑止戦略」について

(1) 令和5年特殊詐欺対策の各目標



(2) 戦略の概要

【予防戦略】

- ① 被害に遭わないための広報啓発の強化
- ② 電話機対策の推進
- ③ 県民運動による阻止活動の推進

【検挙戦略】

- ① 犯罪者グループ等の実態解明・摘発の強化
- ② 被害の抑止に資する分析と検挙活動の推進
- ③ 犯罪インフラ対策の推進